

2020年 3月16日

和洋女子大学

京成電鉄株式会社

和洋女子大学×京成電鉄 国府台駅に「おもてなし看板」を設置！

～千葉県へ来る方を産学官連携でおもてなし～

和洋女子大学(所在:千葉県市川市、学長:岸田 宏司)と京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、千葉県が実施している「県境おもてなし作戦【参考1】」の取り組みに賛同し、京成線における千葉県の入口となる国府台駅構内に「おもてなし看板」を設置しました。

和洋女子大学と京成電鉄は、2019年2月に連携・協力に関する包括協定を結んでいます【参考2】。当看板の製作にあたっては、国府台駅を最寄り駅とする和洋女子大学の学生や、「オール千葉おもてなし隊【参考3】」のオピニオンリーダーを務める高木紗友希さん(Juice=Juice)、鍛冶島 彩さん(アップアップガールズ(2))のアイデアをデザインに取り入れました。

デザインには「チーバくん」や「京成パンダ」をはじめとするキャラクターを使用し、その愛らしい表情やハート型の模様を取り入れることで「おもてなし」の気持ちを表現しました。また、県内の京成線沿線の観光スポット等を写真付きで紹介し、その魅力をPRします。

今後も地域社会と積極的に連携し、沿線の魅力向上、活性化に努めてまいります。



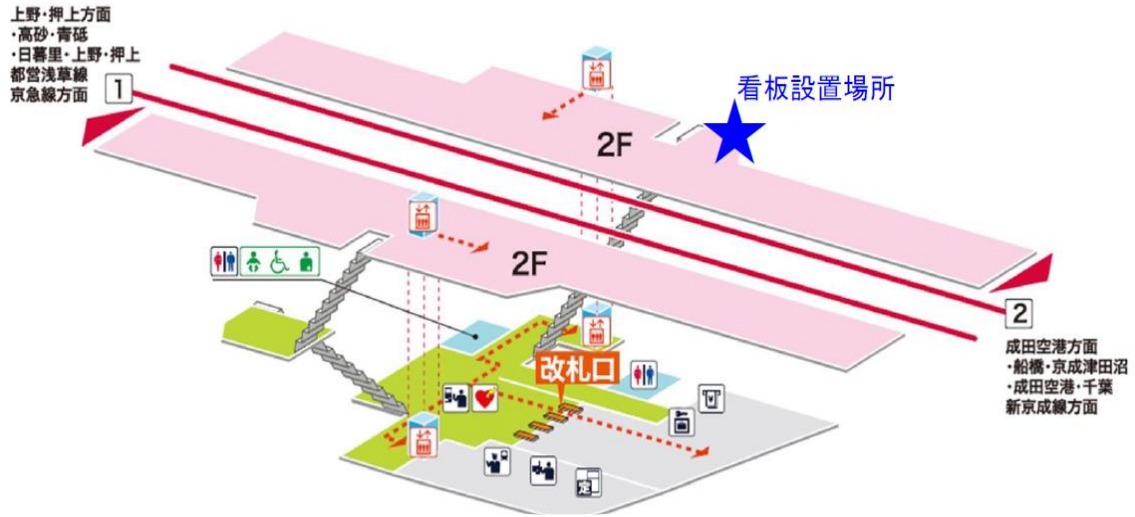
「おもてなし看板」お披露目の様子

(写真左から京成パンダ、高木さん、鍛冶島さん、チーバくん)

国府台駅「おもてなし看板」概要

1. 設置場所

国府台駅(住所:市川市市川3-30-1)下りホーム



国府台駅構内図

2. 設置開始日

2020年3月16日(月)

3. 看板デザイン



以上

【参考1】県境(けんざかい)おもてなし作戦について

千葉県では、お客様を最高のおもてなしでお迎えできるよう、「県境おもてなし作戦」として、本県への主要な入口である道路等の看板を、歓迎の気持ちや本県の魅力を伝える統一感のあるデザインに刷新しており、2019年9月には、第1号となる看板が千葉県道1号市川松戸線(葛飾橋)に設置されました。

【参考2】和洋女子大学と京成電鉄の連携・協力に関する包括協定について

和洋女子大学と京成電鉄では、地域社会の発展に貢献することを目的に、京成エリアの魅力向上や、文化・観光の振興等の事柄において産学連携の取り組みを一層推進することに合意し、2019年2月20日付で「和洋女子大学と京成電鉄株式会社との連携・協力に関する包括協定書」を締結しました。

●和洋女子大学と京成電鉄の近年の取り組み

実施時期	内容
2018年3月	京成電鉄発行の沿線紹介パンフレットに和洋女子大学の学生が出演
2018年3月～	京成グループの(株)京成ストアが和洋女子大学家政学部健康栄養学科の学生と商品(季節のお弁当)を共同開発
2018年6月～	和洋女子大学人文学部国際学科の学生が京成エリアの魅力を調査しPR方法を提案する授業を実施。学生へのフィードバック等を行った
2019年 7月～9月	和洋女子大学人文学部国際学科の学生による駅案内ボランティアを実施

【参考3】オール千葉おもてなし隊について

千葉県では、「オール千葉」でおもてなしの機運を高めるため、県民や事業者、自治体等からなる「オール千葉おもてなし隊」を2018年8月に結成しました。

千葉県に縁のあるタレントがオピニオンリーダーを務め、様々な実施主体が行う「おもてなしに繋がる活動(清掃活動など)」に参加し、PRを行っています。



和洋女子大学学生と「オール千葉おもてなし隊」オピニオンリーダーによる意見交換の様子